

みなとしみず

SINCE 1990.6 No.143

～清水港をはじめ静岡県内の「みなと」の旬な情報をお届けします！～

発行



国土交通省 中部地方整備局

清水港湾事務所

御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所

静岡市清水区日の出町7番2号

TEL 054-352-4146 (代表)

<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

年頭の挨拶（清水港湾事務所長 早川 佑介）

明けましておめでとうございます。日頃より、国土交通行政、港湾行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年 of 新型コロナは、社会に大きな影響をもたらし、日常生活や働き方も大きな変革を余儀なくされました。今年に入っても予断を許さない状況が続いていますが、このような中で地域経済の血脈を担って頂いている物流・港湾関係者の皆様には深く感謝を申し上げます。

現在、感染症拡大防止と経済活動の両立や、相次ぐ大規模自然災害への対応は喫緊の課題です。当事務所としても、港湾の津波・高潮・高波対策や、ポストコロナに向けてサプライチェーンを強靱化するための港湾機能強化にしっかり取り組んで参ります。

さて、当事務所は大正10年に開設され、本年が100年の節目となります。これまでお支え頂いた地域の皆様に心より感謝するとともに、次の100年に向け、引き続き皆様と手を携えて、安全・安心で活力ある静岡のみなとづくりを着実に進めて参ります。

本年もご指導、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

清水港からシンガポールへ農産物を試験輸送！

農林水産物の輸出拡大が政府の重要目標となる中、当事務所でも、関係者の皆様と連携して、清水港からの農産物の輸出促進に取り組んでいます。

令和元年度は、静岡県と周辺県産の農産物（野菜・果物）を高性能な冷蔵コンテナに入れて、清水港からシンガポールへコンテナ船で輸送する試験を、計4回行いました。輸送後に鮮度や傷みを確認したところ、大半の品物が良好な状態であり、今後の船による輸出拡大に弾みがつきました。

令和2年12月には、運ぶ量や種類の拡大を目指して、九州産の農産物を大分港から清水港へ船で輸送し、中部産と合わせてシンガポールに輸送する試験を行いました。

試験において、農産物を冷蔵倉庫から出してコンテナへ積み込む時に、外気に触れて鮮度が低下する恐れがあるなどの課題が見つかり、最適な解決方法を検討中です。



卸売市場の冷蔵倉庫から
高性能冷蔵コンテナへ積み込み

農産物輸送試験の流れ



清水港において、クルーズ船の寄港が再開

昨年は新型コロナの影響により、クルーズ船の運航中止の状況が続いていましたが、船内や寄港地の感染症対策を徹底することにより、10月から日本国内クルーズが再開しました。清水港でも、11月4日にクルーズ船「飛鳥Ⅱ」が清水港に寄港し、その後も、「にっぽん丸」「ぱしふいっくびいなす」といったクルーズ船が寄港しました。

コロナが収束後、再び清水港に多くのクルーズ船が寄港できるよう、当事務所でも、日の出地区においてクルーズ岸壁の整備を進めています。



11/4 飛鳥Ⅱ



11/8 にっぽん丸



12/6 ぱしふいっくびいなす

清水港湾事務所の業務艇を活用し、伊豆半島への災害派遣訓練や、災害時の漁港活用調査を行いました

令和2年11月26日に、当事務所の港湾業務艇を活用し、沼津河川国道事務所、静岡営繕事務所と合同で伊豆半島への災害派遣訓練を実施しました。また、同日、当事務所と静岡県が連携し、災害発生時における伊豆半島西側の漁港（妻良・田子・安良里・戸田）の活用に向けた現地調査を実施しました。

災害時に、海からの支援が可能となるよう、引き続き、県内港湾・漁港の調査や関係機関との連携体制の構築、物資輸送訓練などに取り組む予定です。



災害発生時における
漁港の活用可能性の調査(妻良漁港)

みなとや市民の皆様の安全・安心を守るため、「水際・防災対策連絡会議」を開催しました

清水港湾事務所では、港や市民の安全・安心に関する関係機関の情報交換を目的とする「清水港 水際・防災対策連絡会議」を設置し、令和2年12月17日に第1回目の会議を開催しました。

会議では、清水港の関係行政機関や関係団体が、高潮・津波対策、クルーズ船受入時の新型コロナ感染症対策、ヒアリ等特定外来生物への対応に関して、情報共有・意見交換を行いました。



第1回 清水港 水際・防災対策連絡会議

御前崎港において、「釣り」による地域振興に取り組んでいます

御前崎港は、多くの釣り人が集まる人気の釣りスポットであり、釣りイベントの開催や安全対策の推進など、「釣り」による地域振興の取組が進められてきました。

こうした取組の結果、令和2年8月3日に、国土交通省より、御前崎港が「釣り文化振興モデル港」として指定されました。（静岡県内では、他に熱海港、清水港が指定済み）

御前崎港では、モデル港の指定を受けて、今後、釣り人に対する安全・マナー教育の実施や、釣り大会の開催などが予定されています。

令和2年11月15日には、御前崎市観光協会主催の「第1回 御前崎市観光協会沖釣り大会」が開催され、多くの釣りファンが遠方からも訪れて、早朝から御前崎港沖合での釣りを楽しみました。

当事務所でも、地元の皆様と協力して、釣りも含めて御前崎港の更なる利活用や賑わいづくりに取り組んでいます。



9月10日 釣り文化振興モデル港 指定証交付式
(左: 柳澤 御前崎市長 右: 加藤 中部地方整備局副局長)



第1回 御前崎市観光協会
沖釣り大会の様子

田子の浦港において、鈴川海浜スポーツ公園が完成しました

令和2年11月28日に、田子の浦港において、静岡県、富士市、元吉原地区まちづくり協議会及び鈴川区協議会主催による「鈴川海浜スポーツ公園」の完成式典が開催されました。

本公園は、地域の方々のご意見を取り入れ、スポーツ等での利用が可能な芝生広場を主とした緑地公園として、田子の浦港東側の海岸部に整備されました。「みなとオアシス田子の浦」の構成施設の一つでもあり、グラウンドゴルフの初心者教室が開催されるなど、今後、地域の交流拠点としての活用が期待されます。

当日は、新型コロナウイルスの感染予防対策を行った上で、小長井富士市長のあいさつや記念植樹が行われました。



鈴川海浜スポーツ公園



記念植樹の様子

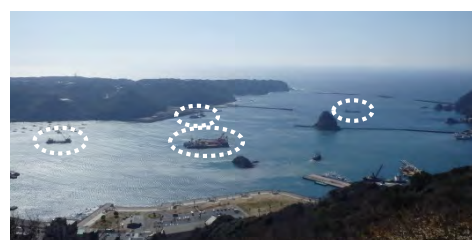
下田港において、まちを津波から守る防波堤の整備を進めています

下田港は、伊豆半島の南端、石廊崎の東側にある港です。

下田港の沖合は、年間約11万隻の船が往来する、海上交通にとって大変重要な海域ですが、気象・海象条件が厳しい難所としても知られています。

また、下田港周辺地域は、古くから津波により繰り返し被災しており、津波対策は、市街地の浸水被害を減らすことや、下田港周辺の賑わいあるまちづくりを進める上で、重要な課題となっています。

このため、下田港では、荒天時にも船舶が安全に避難できる静穏な水域を確保するとともに、東海地震などによる津波から市街地を防護するため、当事務所において、昭和55年から防波堤の整備を進めています。



荒天時の船舶避難状況(2016年3月)

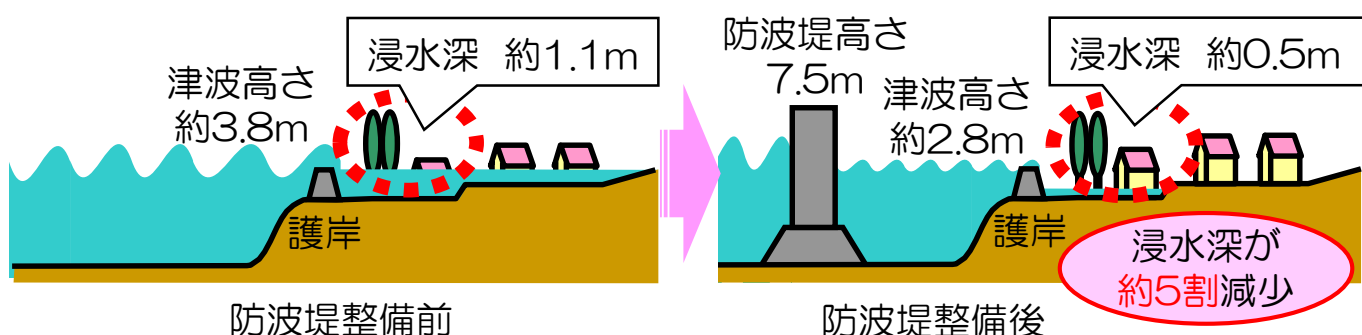
下田港の防波堤整備状況

防波堤が完成すると、想定されている「東海地震」が発生した場合でも、津波の高さを抑え、陸側の護岸と一体となって浸水範囲を半減させるなどの効果が期待でき、津波からまちを守ることができるようになります。

当事務所では、今後10年間程度での防波堤完成を目指して、引き続き整備を進めていきます。

津波軽減効果のイメージ

- ・東海地震に伴う津波を想定
- ・下田市役所付近の浸水深を例示



みなとの企業訪問 (田子の浦港 鈴川エネルギーセンター(株))

鈴川エネルギーセンター株式会社様のご厚意により、令和2年12月3日に、富士市に立地する「鈴川エネルギーセンター火力発電所」を見学させていただきましたので、ご紹介いたします。



鈴川エネルギーセンター火力発電所



現在の燃料は石炭



2022年から木質燃料へ変更
(木製品工場で発生した
木質の残材を固めた物)

鈴川エネルギーセンター火力発電所は、2016年から操業を開始し、細かく砕いた石炭を燃料として発電しています。発電所では「脱炭素社会」の実現に向けて、2022年に燃料を石炭から木質燃料に変更し、バイオマス発電への切り替えを予定しています。

発電所では、排気ガスの不純物を徹底的に取り除く大気汚染対策、防音壁による騒音対策、石炭から出る粉塵の飛散対策など、周辺地域に対する配慮や対策が随所に見られました。実際に、工場の外には粉塵や騒音が無く、対策の効果を肌で感じる事が出来ました。

また、発電設備の床をかさ上げしていたり、緊急時に設備を停止するための非常用電源を高所へ設置していたりと、浸水対策も万全で、災害に強い造りであることが分かりました。



密閉して飛散対策を施した石炭コンベア

発電燃料となる石炭や木質燃料は、大型船で田子の浦港に輸入されるため、これらの船が安定的に港を利用できるよう、当事務所では航路の保全などの取組を進めています。

最後になりますが、ご案内いただいた鈴川エネルギーセンター株式会社の皆様には、この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

沼津港において、「Sea級グルメ全国大会」が 令和5年度に開催決定！！

全国の「みなとオアシス」のグルメが集う「Sea級グルメ全国大会」が、静岡県内で初めて、令和5年の秋に沼津港（みなとオアシス沼津）で開催されることが決定しました。

令和2年10月25日には、ららぽーと沼津で、沼津市の関係者が全国大会の開催をPRしました。

令和5年は、沼津市制100周年の年であり、この記念すべき年を「Sea級グルメ全国大会」で盛り上げていけるよう、当事務所でも大会の成功に向けて関係者の皆様と協力していきます。



ららぽーと沼津での
大会PRの様子

清水港湾事務所では、みなとの見学会を行っています

令和2年、当事務所では、小中学校8校のみなと見学会を実施しました。見学会では、映像やクイズ形式で、みなとの役割や機能について学んでいたたり、船に乗り岸壁や防波堤、ガントリークレーンなどの港湾施設を間近で見させていただきました。小中学生の皆さんに、みなとをより身近に感じ、一層の理解を深めていただく良い機会になりました。

見学会の実施にあたっては、各港の関係者の皆様には多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。



座学の様子（清水港）



海上見学（田子の浦港）

見学会参加校

【清水港】

- 9月17日（木）八王子市立上川口小学校 5年生
- 10月15日（木）身延町立身延小学校 6年生
- 下山小学校 6年生
- 身延清陵小学校 6年生
- 10月22日（木）裾野市立須山小学校 5年生
- 11月13日（金）静岡県立清水特別支援学校 中学部 1年生
- 11月20日（金）富士宮市立富士根北小学校 4年生

【田子の浦港】

- 11月 9日（月）富士市立田子の浦小学校 3年生

清水港湾事務所では、学校、企業、自治会等の皆様を対象に、みなと（清水港、御前崎港、田子の浦港、下田港など）の見学会や、出前教室を実施しています。

詳細は、清水港湾事務所 企画調整課（TEL 054-352-4148）にお問い合わせ下さい。
メール（pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp）でも受け付けております。

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル
全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間：9時30分～12時、13時～17時（土・日、祝祭日は除く）
携帯電話からもご利用いただけます

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは
何でもお問い合わせください

■本紙に関するお問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課

TEL 054-352-4148

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp